

第5学年家庭科学習指導案

指導者 山田 洋一

- 1 日時 令和4年11月2日(水) 5校時(13:40~14:25)
- 2 学年・学級 5年1組35名
- 3 単元名 ミシンにトライ! 手作りで楽しい生活
- 4 単元について

<p>○児童観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真面目で一生懸命 ・不器用 玉結び、玉どめが苦手な児童11名 ・家庭科は好きだが、裁縫は苦手という児童が多い ・1学期から、お手伝い大作戦とお手伝いに取り組んできた 	<p>○教材観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や日々の生活とのつながりを感じることができる ・同じ物を3回製作することで、見通しを持つことができ、苦手意識の軽減に繋がる
<p>○指導観</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目のダスキンの(ダスターで作る雑巾)製作で、失敗しながら初めてのミシンを経験させる ・2回目のダスキン製作で、ミシンの使い方に慣れさせる ・椅子カバー製作でミシンを活用させる ・3回目のダスキン製作で、技術の向上を実感させる ・1学期から取り組んできた「お手伝い大作戦」「お手伝いスピーチ」でダスキンを使わせる。家庭科で作った物を使って家族の役に立つ経験をさせ、感じたことをスピーチさせる 	<p>○つながりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科とのつながり 国語「よりよい学校生活のために」 ・家族とのつながり 「お手伝い大作戦」 「夏休み大作戦」 ・友だちとのつながり 「お手伝いスピーチ」

○めざすこどもの姿 裁縫への苦手意識を無くし、誰かの役に立つことに喜びを感じられる子ども

5 単元の指導計画

次	時	学 習 内 容 (*指導上の留意点)	評 価
1	1 2	○ダスキン製作(1回目)→学校で使う *初めてのミシンなので安全最優先で取り組むようにする *3回作るので、失敗歓迎	知 ミシンの安全で正しい使い方について理解し操作が適切にできる
2	3 4	○ダスキン製作(2回目)→家で使う *どこでどう使うか、考えながら作るようにする	思 前回の経験を生かして製作しようとしている
3	5 6 7 8 9 10	椅子カバー製作 ○折り返し部分をミシンで縫う ○両サイドをミシンで縫う ○ポケットの区切りをミシンで縫う	主 安全に気をつけて、ミシン縫いやアイロンを活用して各操作について工夫して実践しようとしている
4	11	○ダスキン製作(3回目)とお手伝いスピーチ *1回目2回目と比べ、自分の技術の変容を感じながら作るようにする	主 安全に気をつけて製作課題を実践し、生活に生かそうとしている

知=知識・技能
 思=思考力・判断力・表現力
 主=主体的に学習に取り組む態度

6 単元の目標

- 知** 製作手順を理解し、玉結び、玉どめ、縫い取り、ミシンの直線縫い、方向転換を適切におこなうことができる
- 思** 針や糸、ミシンの安全で正しい使い方について課題を見出し、実践に向けて工夫することができる
- 主** 製作した作品を、学校や家庭でどのように使うか考え、自分や家族のために役立てるという目的意識を持って作業をおこない生活に生かそうとしている

7 本時の目標・評価

- 主** A：1、2回目と比べ、自分の技術の上達を感じている
- B：製作手順を理解し、時間内にダスキンを製作しようとしている

「活動の様子、ループリックで評価」

8 本時の展開 (11/11 時)

学 習 活 動	指導上の留意点
<p>1 ダスキンの作り方を思い出す [めあての共有]</p>	<p>○授業開始前に紙皿の上へ必要な物を出させておく</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>準備物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短針・手縫い糸・針刺し・糸切りばさみ・ダスター・まち針(5本) </div>
<p>椅子カバーを完成させた今、もう一度ダスキンを作り、レベルアップしたことを実感しよう</p>	
<p>2 ダスキンを製作する [自力解決]</p> <p>『行う作業』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玉結び ・縫い取り ・玉どめ ・まち針 ・ミシン (直線縫い・返し縫い・方向転換) ・不要な糸の処理 	<p>○動画を活用して手順の効率化を図る</p> <p>○玉結び・玉どめが苦手な児童を支援する</p> <p>○縫い取りができた児童からミシンを使用する。班にこだわらず、空いているミシンを効率よく使わせる</p> <p>○ミシンに安全カバーがついているので児童だけで上糸・下糸の交換は難しい (本時では、教師が手伝う)</p>
<p>3 ダスキンスピーチをする [対話的な学習・学びの整理]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2回目に作ったダスキンを家庭でどのように使ったか紹介する ・聞き手は感想をスクールタクトのコメント欄に<input style="width: 100px;" type="text"/> 	<p>○発表者の人数は、残り時間を見て決める</p> <p>○発表者の良い面を見つけてコメントをするよう声かけをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールタクト上に残るのでマイナスコメントはさせない <p>○技術の上達を感じられたかどうか ABC 評価で<input style="width: 100px;" type="text"/></p>
<p>4 ループリックでのふり返し [ふり返し]</p> <p>入力できた児童から退室 (時間が足りなければ宿題にする)</p>	<p>○技術の上達を感じられたかどうか ABC 評価で<input style="width: 100px;" type="text"/></p>

9 授業の視点

- ・同じ物を3回作り、技術の上達を確認したことの是非について
- ・1学期からの学習とのつながり、家庭とのつながりについて
- ・スクールタクトのコメント機能を使ったスピーチについて